



# はばたけ立花中

第7号 平成30年6月11日

編集責任者 校長 城後 慎一

【重点目標のキーワード】  
**表現力・主体性**

〔当面の目標〕大事にしたい5つの言葉！

「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から素直に言える生徒

**立花中生徒は、朝掲示板で自分がすべきことを把握し、時間になったら自分で行動し、役割と責任を主体的に果たしています。**

本校は、日本赤十字連盟の加盟校で「気づき・考え・実行する」生徒の育成に取り組んでいます。

一番の特徴は、生徒会や部活動等の諸活動や教師からの連絡事項は、ほとんど職員室横の「掲示板」で伝達されるということです。

生徒は朝、掲示板で自分の役割を確認し、当たり前のようにやるべき事を遂行していきます。



掲示板を見て今日の行動を確認する生徒（登校時）

下の囲みは、このような生徒の主体的な行動を促すために取り決めている本校職員の申し合わせです。

### 連絡手段の優先順位

- ① 掲示板 ② 連絡プリント等
- ③ 職員朝礼等を通じての伝達
- ④ 校内電話 ⑤ 校内放送

この取組が徹底し、本校では昼食時や緊急時以外、ほとんど校内放送は使用されていません。

## 陸上大会に参加することの意味

6月7日(木)に県立久留米陸上競技場で行われた八女地区陸上大会では、メールで配信したとおり、本校の学校規模としては目を見張る好成績を収めることが出来ました。応援ありがとうございました。

ここで注目してほしいのは、本校の陸上大会への取組はほぼ朝練習のみで行っているということです。生徒の多くは他の部活を兼ねています。自分で出場を決め、選手としての自覚を持って練習に取り組んでいます。

人より早く学校に来て自分の可能性に挑戦した日々、「休みたいなあ」という自分を制して取り組んだ朝練、その営みのすべてが、本校が目指す主体的な姿であり、陸上大会はその表現の場であると考えています。そういう意味で、成績を残せた選手だけでなく、悔しい思いをした選手も含めて、本校自慢の生徒たちです。



## 立花中の「当たり前」

立花中の靴箱の靴は、かかとの部分が靴箱の縁にぴったりと揃っています。ただそれだけで、靴箱にかかをと揃えることを「意識して」行っていることに価値があります。

現在、生徒会の生活常任委員会の取組で、朝、あいさつ運動をしています。あいさつは小学生の頃からしていると思いますが、これも「意識して」行うところに中学生の価値があります。

「意識する」ということは、そういう自分づくりを自分で行っているということです。意識して行うことを通して、それが自分の「当たり前」になっていくのです。

立花中で目指しているのは、将来、本人が社会に出て、正當に評価されるための言動、考え方、知識、所作等の最低限を「当たり前」として定着させることです。

そのために、あいさつや素直な心を表現することを、本校の「当たり前」の一つとして、学校文化の中心に根付かせたいと思っています。

